

あと少しのポリオ根絶活動に必要なもの

-
- 公益財団法人結核予防会（JATA）理事長
 - 認定NPO法人全世代 代表理事
 - 名誉世界保健機関（WHO）西太平洋地域事務局長
 - 国際ロータリー ポリオ根絶アンバサダー
 - 独立行政法人地域医療機能推進機構（JCHO）名誉理事長
 - 新型インフルエンザ等対策推進会議
新型コロナウイルス感染症対策分科会 前会長

尾身 茂

目次

【1】 またパンデミックは起こるか？

【2】 ポリオ根絶は可能か？

【3】 西太平洋地域におけるポリオ根絶の経験

感染症と人類の歴史

パンデミックを起こしやすい感染症？

- **スペイン風邪**

1918-1919年 5,000万人が死亡

- **アジア風邪**

1957年 100万人が死亡

- **香港風邪**

1968年 75万人が死亡

- **SARS**

2003年 約800人が死亡

- **新型インフルエンザ (H1N1)**

2009年 28万人が死亡

- **MARS**

2012年 約500人が死亡

- **新型コロナ感染症**

2020年

これらはすべて
呼吸器感染症

結核＝
呼吸器感染症の代表格



感染症と人類の歴史

繰り返されるパンデミックの背景

■ ウィリアム・H・マクニール(アメリカの歴史家)

1976年『疫病と世界史』

感染症＝人類と自然の複雑な相互作用システムの産物

■ 従来の考え方

人・モノの世界的な動き、森林伐採、動物と人間の接触機会の増加、地球温暖化

感染症と人類の歴史

繰り返されるパンデミックの背景

■ 最近の新たな考え方

野生動物の種類・数 ↓↓↓

家畜動物の数(ウシ、トリなど) ↑↑↑

狭隘な飼育場での飼育⇒家畜動物へのストレス↑↑↑

⇒免疫が減弱、動物内にいるウイルス・細菌が活発化⇒人間に感染



結核：世界の健康問題 (三大感染症)

2021年 新規患者(感染者)数および死亡者数(推定)

	新規患者数	死亡者数
結核*1	1,060万人	160万人※
HIV*2	150万人 (感染者)	65万人 (AIDS関連死)
マラリア*3	2億4100万人	62.7万人
新型コロナ ウイルス感染症*4	1億6450万人	240万人

※うち 18.7万人はHIV合併

*1 WHO: Global tuberculosis report 22

*2 UNAIDS: FACT SHEET 2022より作成

*3 WHO: World malaria report 2021より作成

2021年推定値

*4 Johns-Hopkins Coronavirus Resource Center
(2019.12 - 2023.1の年あたり平均)

免疫状況と発病の関係

病気の発症は病原体と人の免疫力・抵抗力のバランスで決まる
抵抗力・免疫力が弱まると発症する

結核

- ・現在：若い時は免疫力が強く感染しても発症しないが、高齢者になり発症
- ・戦時中：若い人の免疫力が弱いので青年期に発症
- ・今も昔も社会的な弱者は感染しやすい

コロナ

- ・基礎疾患のある人は発症、重症化しやすい

目次

【1】 またパンデミックは起こるか？

【2】 ポリオ根絶は可能か？

【3】 西太平洋地域におけるポリオ根絶の経験

現状

- ・ アフガニスタン、パキスタンのサーベイランスの質は、かなり信頼できるものになっている
- ・ とくにhigh-risk areasではEnvironmental Surveillanceが機能し始めている
- ・ そうした中、両国での野生株由来のポリオ患者数は、コンスタントに100を下回っている

	アフガニスタン	パキスタン
2024年	25	74
2025年	9	30

したがって

両国の野生株由来のポリオ患者数がゼロ報告になれば、世界のポリオ根絶に一步近づく！！

解決すべき課題

- ・ アフガニスタンの主たる問題：タリバン
- ・ パキスタンの主たる課題：政権交代による患者数の上下
- ・ ワクチン接種由来による麻痺（VDPV）患者が広範囲に報告

したがって

現在、OPVとIPVのコンビネーション接種が行われている。
なるべく早く、IPVの2回接種を実施。

求められるアクション

- 最優先課題：アフガニスタン、パキスタン両国の
野生株由来のポリオ（WPV）患者をゼロに。
- 全ての国がサーベイランスの質を強化・維持。
- 高い予防接種率の維持または獲得
- 両国に協力を促す何らかのインセンティブの検討
例；ポリオだけでなく他の母子保健や下水サービス向上、ワクチンに対するミストラスト
地域の人々に大きく影響を与える人との対話、両国に影響力を持つ国との連携
- ポリオ根絶に対する財政的支援、コミットメントの継続
なお、cVDPV(circulating vaccine derived polioviruses)の伝播がなくなったことの認定は、
OPVの接種が完全に中止されてから始まる

目次

【１】 またパンデミックは起こるか？

【２】 ポリオ根絶は可能か？

【３】 西太平洋地域におけるポリオ根絶の経験



ちよつと休憩？！

時間チェック

根絶に向けての3戦略



① 定期予防接種
(一歳未満)



② 特別予防接種週間
(過去の予防接種歴にかかわらず
5歳以下の小児全員)

③ 急性弛緩性麻痺（Acute Flaccid Paralysis: AFP） サーベイランスの立ち上げ



- 1 : 発展途上国では小児麻痺の鑑別診断 困難
- 2 : したがって、すべての急性弛緩性麻痺を報告
- 3 : 同時に便検体採取→WHO指定の検査機関
- 4 : ところで、人口10万人に最低1例のAFP/年間
- 5 : AFPサーベイランスのメリット
 - ・ 真の小児麻痺症例の見落とし↓
 - ・ サーベイランスの質の評価が内在

資金の絶対的不足



政治的課題：紛争地域



White and Green. Doctors and soldiers pose for posterity, among the millions who worked for the success of the National Immunization Day.

実行上の困難



最後の“駄目押し”





WHO西太平洋地域事務局にて拡大防止予防接種を実施
中国にて子供へのポリオワクチン接種の様子

社会的に微妙な問題

中国に於けるポリオ症例
90%が第二子、第三子〜〜〜

**最後の症例：Cambodia,
発症3月19日1997年**



Western Pacific
Region



Expanded Programme on Immunization

poliomyelitis cases 1998

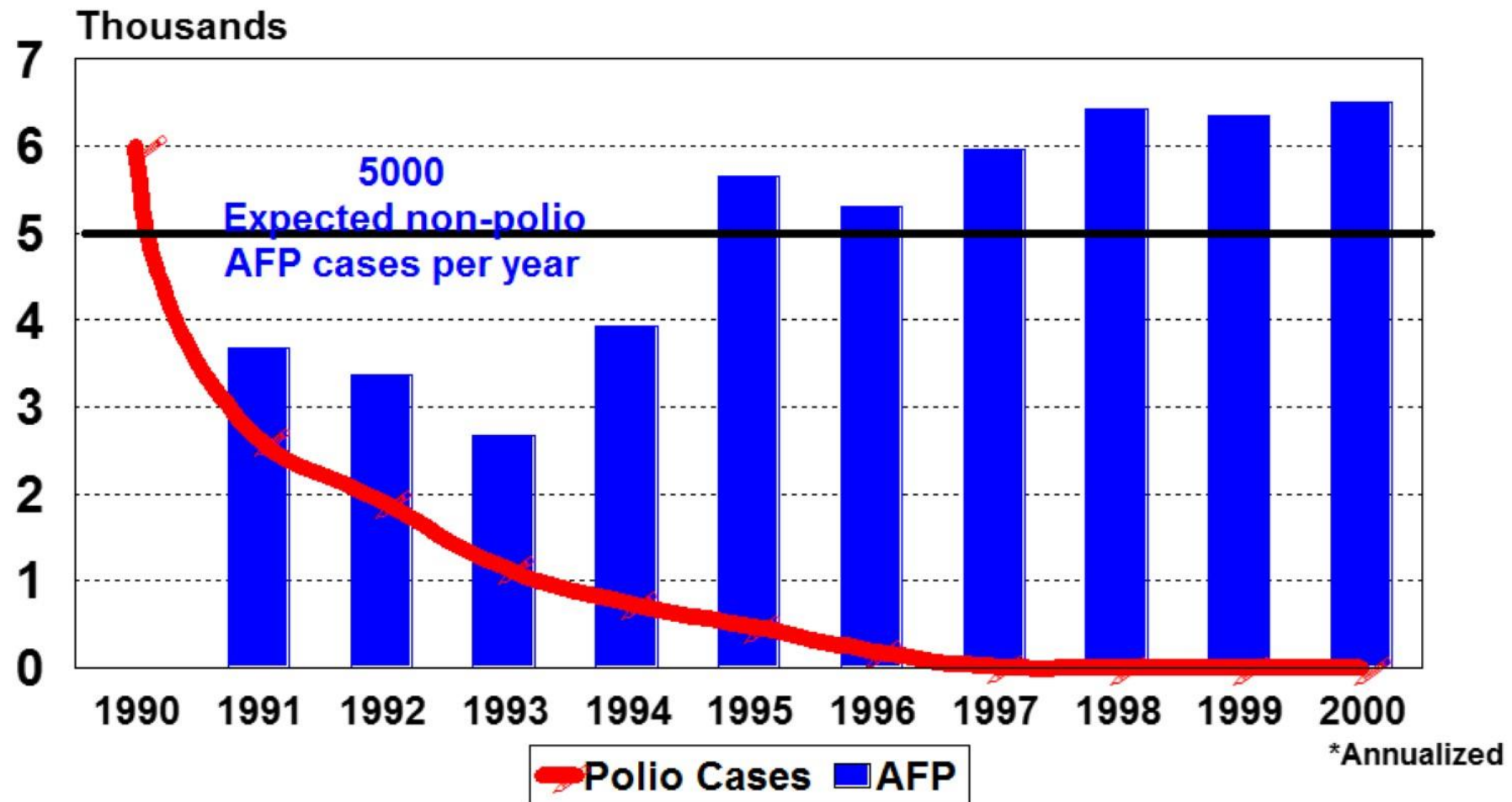
Number of poliomyelitis cases:

0

Last polio case in WPR
19 March 1997

Polio Cases and Acute Flaccid Paralysis

Western Pacific Region 1990-2000*



国際ロータリーの皆さんへのお願い

ポリオが地球上から根絶されるまで、
お付き合いをお願いします。



ご清聴ありがとうございました



Rotary
District 2790



八つの心で繋ぐ未来への誓い 「ポリオのない世界」

第2790地区 2025-26年度ガバナー 時田 清次
2025年10月20日ロータリー研究会



八つの心で繋ぐ未来への誓い



私たちの故郷千葉、その千葉に残る
「南総里見八犬伝」の物語の八徳
「仁義礼智忠信孝悌」を通じた
美術品を展示することにより、ロータ
リーの公共イメージ向上、青少年の
社会教育、ポリオ根絶活動を行い、

UNITE FOR GOOD

「よいことのために取りおう。」

実現したものです。



八 房

プロジェクト内容

県内6カ所の美術館・博物館で開催！



1) 公共イメージの向上
TV、新聞等の取材

2) 青少年の社会学習

美術館周辺の小中学生の招待

3) ポリオ根絶活動

ランタンにによる
セレモニーと寄付



八つの心で繋ぐ未来への誓い



1) プロジェクトへの動員数

招待状の配布

2) 公共イメージ向上のメディアの活用

TV・新聞・ラジオ

3) 青少年の社会学習

IAC年次大会

学校への卓話

4) ポリオ根絶寄付

寄付者に八犬伝のポストカードをお礼に配る





八つの心で繋ぐ未来への誓い



ポリオ根絶は、ロータリアンが八徳の精神を現代において具現化する、最も大規模で具体的な活動であるといえます。

その中で、

仁の心で、全ての子供の命を守る。

ポリオ根絶は子供たちとの約束です。

Rotary

District 2790



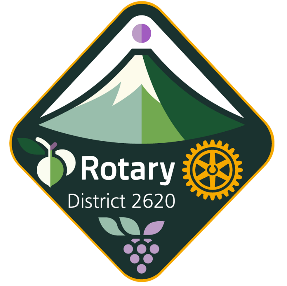
District 2790
“Hakkenden” Project

ご清聴ありがとうございました。





UNITE FOR GOOD



『会社 de ワクチン』

エンドポリオキャンペーン

ポリオ、根絶！



国際ロータリー第2620地区
2025-26年度 ガバナー
稲葉 雅之(伊東西RC)

ステッカーを作成し 効率的な寄付を実現

企業に協力を呼びかけ、効率的に寄付を集める



『寄付増強』
『公共イメージ』
『貢献実感』
『参加基盤拡大』



ステッカーを貼った車が走ることで「END POLIO」を広く啓発社会貢献が見える形に

走るメッセージ ～市民に伝えるポリオ根絶への想い～



地区統一行動：エンドポリオキャンペーン

—企業・事業所にも拡大—

会社deワクチン



2620地区の取り組み



2025'11'1 伊豆半島サイクルキャラバン

募金 寄付



ご清聴ありがとうございました

よいことのために手を取りあおう

皆様のご協力をお願いします



LET'S UNITE FOR GOOD!



POLIO NOW

CHARITY KARAOKE PARTY vol.3



音楽を通しロータリー同士が
親睦を深めながらポリオ根絶を願う
チャリティーイベントです。

今年は大分・熊本の2会場で開催!!『つながれ』支援の輪。

2025 ポリオ根絶チャリティーカラオケパーティー vol.3

本会場

10/25 SAT

start 16:30 ~ close 20:00

ライブハウス 熊本B.9

熊本市中央区 城東町5-13 ビーナインビル 1F

□参加バンド『Zezeband』『M&M』『熊本平成RCバンド』『』

10/31 FRI

20:30

ライブ&ギャラリー BRICK

大分市生石5丁目7-5

□参加バンド『Zezeband』『』

2025 ポリオ根絶 チャリティーカラオケ パーティー

国際ロータリー

第2720地区

ガバナー 藤田千克由

事業について

事業名 : 2025ポリオ根絶チャリティカラオケパーティー

主催 : 国際ロータリー第2720地区

(ロータリー財団部門・公共イメージ向上部門)

開催日時及び場所

熊本会場(ライブハウス 熊本B9)2025年10月25日(土)16:30～

大分会場(ライブ&ギャラリーBRICK BLOCK)

2025年10月31日(金)18:00～

対象 : ロータリアン



事業の目的

- ①ロータリーの重点活動の一つである「エンドポリオプラス（ポリオ根絶運動）」の推進
- ②ロータリアン自らが楽しみながら奉仕につなげることをテーマとした、音楽とカラオケを通じた募金活動



事業の概要



熊本会場および大分会場の2拠点において、ロータリアンを対象に「チャリティカラオケパーティー」を開催

入場登録料は3,000円、カラオケ参加登録者はプラス2,000円とし、プログラム内に熊本3バンド・大分3バンドのロータリアンバンドによる演奏を盛り込んだ

- ・ 入場登録料:3,000円
- ・ カラオケ参加登録料:2,000円
- ・ 出演バンド数:熊本4バンド／大分4バンド(鎮西学院ジャズアンサンブルRAC特別参加)
- ・ 対象者:ロータリアン
熊本会場登録者133名・カラオケ登録者14名
大分会場登録者101名・カラオケ登録者14名

成果および実績

ポリオ募金結果

熊本会場では301,527円

大分会場では181,167円

合計482,694円

エンターテインメント効果

「楽しまなきゃロータリーじゃない」という
精神のもと、音楽と笑顔あふれる交流
の場として成功裡に終了



広報・公共イメージ向上

熊本会場はRKK熊本放送

大分会場はOAB大分朝日放送

それぞれ取材・放映され、地域社会における
ロータリー活動の認知向上に寄与



今後の展望

次回以降は、ロータリアンのみならず一般市民の
皆さまにも参加いただけるイベントとして発展さ
せ、より多くの人々に「エンドポリオプラス」への
理解と支援の輪を広げていきたい



総括

「楽しむ奉仕」というロータリー
の本質を体現した本事業は、会員同
士の親睦を深めるとともに、地域社
会に対しても明るく前向きなメッ
セージを発信する機会となった

